

Prime Mover ENGINEERING

東海大学機友会々報

萩 三二先生筆



16号

東海大学機友会事務局
湘南校舎 動力機械工学科事務室
〒259-12 神奈川県平塚市北金目1117
☎0463-58-1211内4321 FAX0463-59-8293
発行人 河西正彦
印刷 信友印刷株式会社 ☎03-3444-2481(代)

賛助会員募集と地方支部設立にむけて

機友会会長 河西正彦



まいりました。

本年は会に協賛下さる賛助会員の募集と各県別または地方ブロックに役員を地元会員に依頼し、地方支部の設立に取組む所存です。来年十一月は総会開催年でもあり、是非ともその時期に目処を立てる予定です。

この賛助会員と地方支部の件により会の掲げる事業がほぼ完成することになります。ご協力のほどお願い申し上げます。

これからの一つ一つの作業を通じて多くの会員の要望に添えてまいります。どうか会にご理解とご支援を下さるよう重ねてお願い申し上げます。

平成六年度卒研発表会・謝恩会開催

平成七年二月十四日に平成六年度卒業研究発表会が東海大学湘南校舎六号館にて午前十時より開催されました。

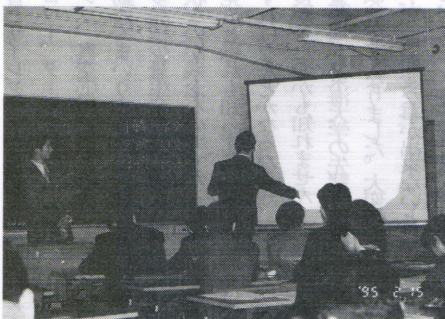
本年度は各研究室から学生の卒研委員が選出され、発表会の準備および運営が学生により自主的に行われました。

卒研生はこの一年間でかなり鍛えられたとみえて、それを裏付けるかのよう

にみな一人前の研究者らしく堂々と発表していました。どの会場でもあまり時間にとられず活発な質疑応答がなされ、四苦八苦する場面もみられましたが、質的に大変すばらしい発表会でした。

発表会終了後、卒研生諸君による謝

辞が述べられ、卒業生を代表して謝辞が述べられ、続いて来賓を代表して康井主任教授による祝辞、機友会を代表して河西会長による祝辞が述べられ



第二工学部機械工学科卒研発表会

機友会会長賞

安西 洋、岡 穰次、嵯峨 庸男、湯本 明生

機友会賞

中川 吉宗、松尾 尚典、磯合美智子、橋本 俊一、青山 淳、清水 俊介、杉山 亘宏、曾我 隆之、人見 大輔、吉野 昇、八尋 洋光

機友会表彰者

機友会賞は本会が、学業によく励み、かつクラスの団結に寄与した学生、あるいは特別な努力や学科のために非常に貢献した学生に授与される賞であり、今年度は卒業式当日に次の学生に授与されます。受賞おめでとうございます。

また第二工学部機械工学科の卒業研究発表会は、翌日の二月十五日に代々木校舎四号館で開催されました。この発表会でも学生卒研委員による自主的な運営が行われ、第二工学部の卒業研究は時間や施設あるいは機材の点で困難な面があるにも関わらず、ハンディを感じさせない立派な発表会でした。なお恒例となった卒研生による謝恩会は、卒業式当日(三月二十五日)に機友会が紹介した愛甲石田のフォーラム246で開催されます。

水と空気と環境の明日を考える...



荏原グループ

荏原製作所・荏原サービス・荏原プラント建設・マツボー
荏原環境エンジニアリング・荏原エンジニアリングサービス
大岩機器工業所・荏原電産・荏原金剛 他

第九回機友会懇親会開催

平成六年十一月三日第九回機友会懇親会が湘南校舎「松前会館」にて開催されました。

今年には河西会長の名代で副会長 伊藤和義氏（一九六五年卒）より「本日は第四十回建学祭開催期間中で、大変お忙しいにもかかわらず、ご来賓の方にご参加を頂きまして有難うございます。又、日頃より皆様方から機友会活動に暖かいご支援を頂き誠に感謝を致す次第です。今後とも宜しくお願い申し上げます。」とお礼にて始まりました。

続いて学科を代表されまして、動力機械・第二工学部機械主任教授 康井義明先生より「今年もカリキュラムの内容充実の一環として本年四月より、林義正先生、浅香先生、ご両名の新進気鋭の先生をお迎え出来ました。学科として毎年人材・内容共に充実して前進して行く決意です。また機友会との連帯を更に深くして行く方針です。」と力強いご挨拶をいただきました。

次に本部同窓会を代表されまして、北澤敏行様より「東海カードの加入要請及び機友会の益々の発展を願う」とご挨拶をいただきました。

そして副会長 岡田隆夫（一九六四年卒）の音頭にて乾杯となり、和やかな歓談へと進行致しました。今回の懇親会は新たな企画として、機友会主催のバザーを開きました。一般会員の皆様より家庭用品・男性用背広類をはじめ、手作りケーキ・クッキーや、湘南校舎にて収穫した銀杏、機友会ロゴマークの特製キーホルダー・機友会名入りメモ用紙等のオリジナル用品等も用意いたしました。またもう一つの企画として今

卒業生の声

機友会に期待する

宇野澤組鉄工所 玉川工場 設計課
（工学部機械工学科昭和四十七年度卒）

山口 則雄



原稿の依頼があり改めて思い返すと、修士を修了して早や二十年に成りました。大学卒研では有限要素法、修士では薄肉断面材の挙動を専攻しました。歴史の古い弊社の設計部に配属され数多くの新規分野で働きました。



林 正順

神奈川県立向の岡工業高校
（第二工学部機械工学科昭和五十八年度卒）

95年度工業高校採用予定の方は私に連絡して下さい！

畑畑の騒音とサイレンサーから始まり定容積ルーツプロワ、ターボプロワ、曝気水中軸流ポンプ、真空応用技術と雑多にとりともなく動いてまいりました。会社としては典型的な多量少量生産の町工場から脱却できない現状なのが残念なのですが、仕事を振り返って見ると沢山の知らずに「未知の分野でも調査すればなんとかなるだろう。」の楽天的性格が良かったのかも知れません。

最近ほとんどの業種でも東海金子先輩、先輩に御会いする機会が多くなりました。大変頼もしい面なのですが、反面業務が出来ないと自分自身を責めております。最終社購入部品の製法に依頼に当り試作を御願した大企業の重役が大学の先輩という事で話かスムーズに運び、又その企業には数多くの後輩が勤務されている由、これらが楽しみな限りです。

今後も私事であれ、仕事であれ東海大学という縁で数多くの交流の場が生まれたいと期待しております。機友会の中には、公認会計士・自営業・大学の教職員・高校の先生方等も数多くおられるので、これからの活発な情報交換の場として多くに楽しみたいです。

卒業時に機友会より第一回機友会費を頂き、早や11年が過ぎました。現在私は、神奈川県横浜市多摩区・県立向の岡工業高等学校機械科教師として2年目を迎えました。県立の高専学校は165校あり、その内職業高校として工業高校は13校あります。県内の高校進学率は約95%位であり、ほぼ義務教育であると思われる各日です。

向の岡工業高校の概要は本年創立34年を迎え卒業生は県内を中心に数多くの会社に就職し、中堅社員、管理職として活躍しております。設置学科は機械科3・電気科3・建設科2クラス、生徒総数約900名弱（内女子生徒約10名、教員数約80名、機械科19名）です。工業高校ですので、圧倒的に男子生徒ばかりですが、昨年度始めての女子生徒の卒業生を出し、徐々に増えています。就職はこの不況の状態であっても、就職希望数の約10倍近くあり100%の就職率を保っています。教師の仕事は授業だけではなく進路指導担当も行っています。

来年度高校卒業生を採用予定の方がいらっしやいましたら、是非私にお声を掛けて下さい。ところで今の職場（機械科）には4人もの機友会員がおります。私が昨年度転職できたのもその1人で同じ卒業研究仲間であった、田島さんに紹介されました。卒業後のもう1つの職業選択肢が教師であることを覚えていくれたからです。

私は卒業後9年間設計・生産技術者として、転職1回、単身赴任国内2年間、海外1年間を経験しました。私生活では2児の父となりました。今後は就職希望者が80%を超す、本校で貴重な情報源として活躍したいと思っています。技術者との違いは相手が成長期の間で、期間が1年間単位であることです。卒業時に機友会評議員となり乍ら何もありませんでしたが、今後は今迄の分を返上し、機友会を通して色々な情報収集をし、仕事に役立てたいと思っていますので、宜しくお願いします。

東芝特約店(金属・新素材) 金属材料・新素材・金属CVD装置・半導体用ガス・各種設備(設計・施工)の専門商社

ウエキコーポレーション

《旧社名：ウエキガス科学株》

本社 〒146 東京都大田区久が原5丁目33番10号
TEL (03) 3753-2211 FAX (03) 3753-7117
支店：北日本・北関東・相模原 事業所：泉・姫路・北九州・大分
営業所：埼玉・横浜・大阪 出張所：浜松・名古屋

本社勤務	水口直 (S47年修士卒)
本社勤務	日向野保雄 (S52年卒)
本社勤務	奥山俊英 (S54年卒)
本社勤務	七澤浩史 (H6年卒)

会社紹介

株式会社大岩機器工業所

今回の会社紹介は快適でクリーンな明日をめざし、空調・冷熱・環境の分野で貢献している株式会社大岩機器工業所を、私（大矢・広報）と伊藤副会長・内山組織部長の3名で訪問致しましたのでここに紹介させていただきます。

株式会社大岩機器工業所は昭和二十一年に、荏原製作所代理店として、エバラ製品の販売、修理等を業務として事業を開始いたしました。現在、管理

本部を東京都港区新橋に、また第一事業本部から第三事業本部までを全国に設置し、さらに福島県国見に国見工場をもっております。資本金は一億円で、社員数は五百九十名ですが、その平均年齢は三十四才と若く会社全体が大変活気にあふれています。



同社の経営理念は快適でクリーンな明日をめざし、空調・冷熱・環境の分野で、先進のエンジニアリングとハイテクオリティサービスをもって社会に貢献することです。21世紀にむけより一層の成長を目指す上で全社員が同じ方向に向かい、その持てる総力をひとつに結集できるように企業の目的、活動分野、手法、方向性等を要約したものです。

『快適でクリーンな明日』とは人類が追い求める共通テーマであり同社が貢献したい社会の具体的姿です。

『空調・冷熱・環境の分野』という同社の現在の「ミッション」を示したものであります。

『先進のエンジニアリング』とは、常に新しいエンジニアリングをとりいれ

る、いくつかの技術を組み合わせて先進するということ意味で『ハイテクオリティサービス』とは、お客様の身になってかゆいところに手のとどくサービスをおこなうということです。では、同社の活躍している空調・冷熱・環境の分野を具体的に示すと、食文化のなかで従来の食品冷蔵の考え方は、



安定供給のための冷蔵を衛生的にということでした。しかし昨今のグルメ指向により、世界中のさまざまな食品に対するニーズが国内でも急激に高まり

食品流通をはじめ食品冷蔵の分野にも、より高度な鮮度保持技術や、フッパシヨナブルなディスプレイ技術などが要求されるようになり、大きな転換期を迎えています。細菌の発生や繁殖を抑えるために温度を下げるというだけ

でなく、その食品の味を損なわない最適温度をコントロールする技術。食品の風味を保つだけでなく、食品をみずみずしく、おいしそうに見せる適度な湿度をコントロールする技術など、

食品冷蔵に求められる技術もますます複合的なものになっていきます。同社はただ冷蔵機器を提供するだけではなく、レイアウトから開発、設計、施工、管理、メンテナンスまで、トータルな

ディスプレイサービスを展開しています。その技術は、百貨店・スーパーなどの大型食品冷蔵ケースのみならず、食品流通・食品製造・加工分野の

プレハブ冷凍冷蔵庫等、さまざまなものを最適の環境で保存・展示することを可能にしました。

レジャー・リゾート分野でも、環境テクノロジーに対するニーズや、システム指向が高まりつつあり、シズンを通しての安定したゲレンデコンディションを作るスノーメイキングシステム・ゴルフ

場などの自動散水システムなど、同社の技術はすでに多くの実績を積み重ねています。

また、ディーゼルエンジン、ガスエンジン、ガスタービンなどの原動機による発電と原動機により出る排熱を回収し同時に利用するコージェネレーションシステムを通じ、クアハウスなどの最先端型リゾート、工場、病院、ホテル等の安定したエネルギーの供給と省エネルギーに貢献しています。

のを最適の環境で保存・展示することを可能にしました。

レジャー・リゾート分野でも、環境テクノロジーに対するニーズや、システム

指向が高まりつつあり、シズンを通しての安定したゲレンデコンディションを

作るスノーメイキングシステム・ゴルフ

場などの自動散水システムなど、同社の技術はすでに多くの実績を積み重ねています。

また、ディーゼルエンジン、ガスエンジン、ガスタービンなどの原動機による発電と原動機により出る排熱を回収し同時に利用するコージェネレーションシステムを通じ、クアハウスな

どの最先端型リゾート、工場、病院、ホテル等の安定したエネルギーの供給と省エネルギーに貢献しています。

エネルギー問題や環境保全問題は、21世紀に向けて地球規模での問題となっており、同社のエンジニアリングは次世代を見つめるものです。

このように同社はこれからの時代の花形産業です。就職を考えている学生諸君にぜひ訪問を薦めたい会社です。

そのときは、同社に入社されている先輩が喜んで歓迎してくれると思います。また、訪問したときにお世話になりました常務取締役大岩健次様と総務・人事部課長園部憲一様にてお礼申し上げます。

環境クリエイトに取り組む総合エンジニアリング企業です。

環境クリエイトに取り組む総合エンジニアリング企業です。

環境クリエイトに取り組む総合エンジニアリング企業です。

株式会社 大岩機器工業所
〒105 東京都港区新橋2丁目5番6号(大村ビル) TEL.(03) 3503-0635

東海大学同窓会設立50周年記念事業を実施

東海大学同窓会（桜井次郎会長・専46機械）は一九九四年に設立五十周年を迎え、様々な記念事業が実施された。

「東海大学同窓会設立五十周年記念事業」の大きな柱は、①クレジットカードの機能を加えた会員証「同窓会カード」の発行、及びカード会員・特典付特約店の募集。②『東海大学同窓会50年史』の編纂・発行。③九四年十一月三日の記念総会の開催――。

一九四五年（昭和二〇年）九月一日に静岡県東海科学専門学校の駒越校舎で卒業式が行われて以来、五十年の歳月を経て、現在の東海大学同窓会の会員数は十六万四千人を数えるに至っている。

同窓会カードを発行

東海大学同窓会の会員証にクレジットカードの機能を付けた「同窓会カード」が、東海大学同窓会設立五十周年の記念事業の一環として発行された。

「同窓会カード」の発行は、事務局（浜田允熙事務局長・工64建築）と企画委員会（後藤俊郎委員長・政69経済）を中心に、昨年度から具体的な発行準備が進められてきた。

「同窓会カード」の発行は、会員にとっては①一つのステイタスシンボルになる②独自の優待制度を利用できる③、また同窓会にとっては①会運営に不可欠な会員の住所・氏名情報を掌握できる②事業収入が期待できる③等、会員・会の両方にメリットがあるが、会員が同じカードを所有することで「連帯感」「愛校心」

を引き出し、新たな会員の絆としよう、というのが最大のねらい。

一方、加入者の見込み、カード乱用による弊害等の問題が懸念されたのに対しては、アンケート調査を実施し慎重に検討を重ね、発行を決定した。

提携クレジット会社は、(株)ディーシーカードと、UCカードグループの(株)富士銀クレジット・第一勧銀カード(株)で、DCカード、UCカード共に、VISAゴールドカード、マスターゴールドカードのゴールドカードと、VISA Aカード、マスターカードの一般カードを選択できる。

他大学においては、既に早稲田大学が八九年九月から、明治大学が九〇年七月から、中央大学が八九年から、それぞれカード会社と提携するなど、四十をこえる大学がクレジットカードを兼ねた同窓会会員証を発行し、OB意識の向上、ネットワーク作り等に大きな成果をあげている。

既に、現在「DCカード」「富士銀UCカード」「ハートUCカード」を所有している場合は、簡単にカードの切替をすることも出来る。

家族会員カードについては、当初は発行を見合わせていたが「家族会員カードを発行してほしい」といった多くの会員の声にこたえ、家族会員カードの発行も決めた。現在は新規申し込みと同時に、また追加として家族会員カードの発行が可能になっている。

「同窓会カード」には、一般のクレジットカードの機能に加え、東海大学同窓会ならではのさまざまな特典・優待制度が設定されている。

東京・霞が関ビル三十三階の校友会館、嬬恋高原研修センター、不知火研修センター・松前会館、三保の社会教育センター等の東海大学関係の各施設をはじめ、全国各地のホテル・旅館・飲食店・旅行社・百貨店・劇場・各種専門店で優待サービスを受けることができる。この他にも様々な特典がある。

記念総会を開催

東海大学同窓会設立五十周年記念総会が十一月三日に、湘南校舎8号館ホールで開催された。

正午から始められた総会には、松前達郎総長をはじめとする来賓、家族連れ等の同窓会員ら計六百名が出



DC VISA & DC MasterCard

同窓生の新たな絆 東海大学同窓会DCカード 新登場。

お申込み・お問合せ先
（株）ディーシーカード 提携グループ
☎03-5420-7533 (9:00~17:00 土、日、祝日休)

カードのご利用は計画的に



席した。

建学の歌斉唱に続いて桜井次郎会長が挨拶。同窓会の活動の現状を説明・報告すると共に「設立五十周年を節目として、共により一層の飛躍を目指したい」と集まった同窓生に呼び掛けた。

来賓挨拶として、松前総長は「大学の評価は同窓生の活躍によるもの大きい。同窓生の社会での活躍に感謝するとともに、より一層の活躍を」と同窓生の実社会での活躍、同窓会への期待を述べた。

席上、昨年度学校法人東海大学建学五十周年記念事業の一環として発足した松前重義記念基金に、同窓会から百万円が寄付され、桜井会長から松前総長に目録が手渡された。

松前紀男学長が大学の現況を述べ

ると共に「学園が歩んできた道を確固たるものにするため、同窓会、後援会、白鷗会、教職員、学生協力して活力ある学園の建設を」と語り、第四十回東海大学建学祭湘南実行委員会の山田貴雄君（経営4年）が学生を代表して挨拶を述べた。

続いて、事務局より同窓会の活動報告があり、六月十一日に行われた九四年度同窓会代議員会で承認可決された九三年度会務報告、九三年度支部・学科別各同窓会総会の報告

「50年史」を刊行

半世紀にわたる東海大学同窓会の足跡、活動、将来への展望等を体系的・連続的にまとめ、次の世代に継承するという『東海大学同窓会50年史』の編纂は、一九九二年六月十三日に開催された九二年度東海大学同窓会代議員会で「50年委員会」（後藤俊郎委員長・政69経済）が設置され、同年七月四日に東京・霞が関の東海大学校友会館で初の委員会が開かれ編纂が本格的にスタートした。

以来、二年をこえる編纂作業の末、昨年十一月一日に発刊された。

「年史」はA4判、二百二十四頁。本文は①桜井次郎会長、松前達郎総長、松前紀男学長、小高熹郎元東海大学連合後援会会長の挨拶。②同窓会本部歴代三役一覽。③同窓会五十



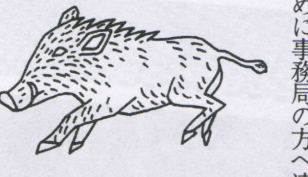
九三年度活動状況報告、九四年度収支予算、九四年度活動報告が報告され、総会は終了した。その後、香取草之助学校法人東海大学理事の乾杯の音頭で懇親会に移った。

懇親会では旧友、恩師との再会に話の花が咲き、ホールの外は第四十回湘南建学祭の期間中とあって、同窓会員は久しぶりのキャンパスでひとときを過ごし、学生生活を懐かしんだ。

年の歩み。④尾郷良幸副会長（工58電気）の司会で、松前総長、松前学長、桜井会長による座談会「東海大学の発展と同窓会の果たす役割」。浜田

允熙事務局長（工64建築）の司会で、澄川晴大氏（専45物理）、上野念氏（専47物理）、早坂啓氏（専47電気）、中本豊氏（専49建築）による座談会「戦中・戦後に羽ばたく青春」。木村登組織委員長（工57電気）の司会で、亀田和久氏（旧48予科）、月花靖雄氏（工52電気）、阿久戸幸雄氏（工57電気）、河西正彦氏（工66Ⅱ機）、齋藤齊（医5医学）、相原早苗さん（教79芸術）、松田真貴さん（理89情数）による座談会「前進する東海大学と学生生活を語る」。作家の夢枕獯氏（文72日文）の司会で、柔道の山下泰裕氏（79大学院）、野球の原辰徳氏（政80経済）、陸上の高野進氏（85大学院）による座談会「東海大学とわがスポーツ人生」の、座談会四部作。⑤略年表。⑥各支部紹介・学科同窓会紹介⑦同窓会アラカルト。⑧同窓会会則、等で構成されており、同窓会五十年の歴史・活動・将来へのビジョン等が解りやすくまとめられている。

なお、部数に限りがあるので購入希望の方は早めに事務局の方へ連絡を。



たくさんの夢を集めて、信頼の世界へ。UCカード
東海大学同窓生の新たな絆として、ご活用ください。

UCカードグループ お問い合わせ、お申込み先
株式会社 富士銀クレジット 〒104 東京都中央区銀座4-2-11 数寄屋橋富士ビル
TEL. 03-5565-5111代 関東財務局長(3)第00670号

カードのご利用は計画的に

●UC-VISAカード
●UC-VISAゴールドカード
●UC-マスターカード
●UC-マスターゴールドカード

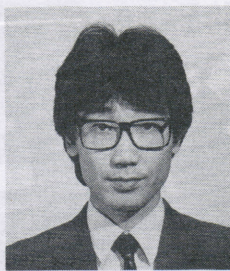
第一勧銀カード株式会社 〒103 東京都中央区日本橋小網町6-1 山万ビル
TEL. 03-3639-4811代 関東財務局長(4)第00482号

新技術・研究紹介

古くて新しいハニカム

動力機械工学科講師

森山 裕幸



ハニカム構造は通常表面板と言われ、薄板で覆われ、なかなか目に触れることがないのでイメージしにくいかもしれません。ハニカム(Honey-comb)構造はシートまたはフィルム状の素材をその名のごとく蜂の巣状(正六角形)に成形したコアと、一枚の表面板で構成されたものです(図2参照)。その歴史は意外に古く、航空機の軽量化を意図して一九四〇年代に考案されました。材質には様々な特性を期待して金属系ではアルミ合金、ステンレスおよび耐熱合金等、また非鉄金属ではクラフト紙、アラミド紙、塩化ビニールフィルムおよびFRP等が用いられていますが、主流はアルミ合金です。ハニカムコアの成形段階および表面板との接合はほとんど接着剤で行われており、接着剤の性能と塗布量はハニカム構造の力学的特性に強く寄与します。また金属と接着剤の熱膨張係数が異なるため、厳しい温度環境下では両者の界面

あるいは接着剤内部に内部応力が発生し、接着強度を著しく低下させます。そのため最近では耐熱強度のニーズに応じて溶接等の接合法も採用されています。ハニカム構造は約八八〜九七%が空間である形状の特殊性より、一般に熱貫流抵抗が大きく、コア内部に発砲材を充填することによって、高強度・高剛性な断熱パネルを実現しています。また表面板の片側に小さな孔を設けることにより、特定周波数の吸音効果を得られます。さらに表面板は数多くのコアで支えられているため優れた平滑性があり、曲面成形でもかなりの曲面精度が得られます。そのため建材にも使用される傾向にあり、ビル壁、屋根ではハニカム自身の強度により少ない支持での設計が可能になり、デザイン面の自由度を広げています。



図1 コンセプトカーAXV-IV(トヨタ自動車㈱より提供)

このようにハニカムは産業全般にわたり多くの潜在的な可能性を秘めた構造ではありますが、やはり運動性能、経済性および安全性に直接関与する輸送機器への応用が主流で、とくに自動車、鉄道等の陸上輸送機器の分野で期待されています。図1は第二九回東京モーターショーで発表された超軽量高効率のコンセプトカー(AXV-IV)です。フロアには図2に示すような溶接アルミハニカムの使用によってクロスメンバが不用になり、大幅な軽量化につながりました。アルミは精錬時に膨大な電力が必要でありサイクルによる省エネルギー、省資源の効果は大きいため、このコンセプトカーのボディ構造にはフロアを含め積極的にアルミ合金を採用しています。

一方、ハニカム構造はセル軸方向(図2)における板厚方向に圧縮荷重を受けると、ほぼ一定の荷重のもとに圧潰します。この特性を利用すれば運動物体の衝撃を一樣に吸収することによって、物体あるいは構造物の損傷を最小限に抑えることも可能になります。

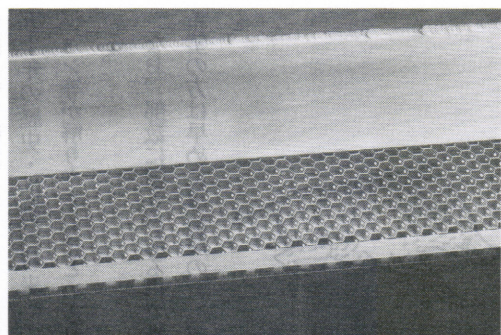


図2 AXV-IVのフロア構造(トヨタ自動車㈱より提供)

す。実際、航空機からの物量投下および宇宙船のクッション材、原子力発電所の安全装置、石油パイプラインの対地震対策等に使用されています。さらに陸上輸送機器にまで応用範囲を想定すれば、ハニカム構造の工学に対する貢献は計り知れないものがあります。私の所属する材料力学研究室では國本先生(元動力機械工学科教授、現住友軽金属工業(株)顧問)がこのテーマを手掛けられ、その後住友軽金属工業(株)との共同研究という形で発展してきました。現在ではハニカム構造の高い剛性を有する軽量構造と、高性能な衝撃緩衝装置への応用と相反する立場で研究を進めております。非常に地味な研究でまだいくつもの高いハードルを乗り越えねばならない問題を抱えています。着実に学会論文という形で成果を上げつつあります。長々と自分勝手な話をしてきましたが、みなさんの期待に応えられるよう今後も卒研生と共に頑張ってください。で、さらなる発展を期待して下さう。

最高温度2,800°C 純度20PPM以下

高純度 GfG

汚れや飛散のないカーボン材料

真空、高温炉内材料一式
炉内部品取替工事
炭素繊維高温材料

営業品目
カーボンヒーター 炭素繊維断熱材
炉内サポート治具 機械用カーボン
炉内資料置板 ホットゾーン改修工事

メカニカルカーボン工業株式会社

本社・工場：〒247 神奈川県鎌倉市台5-3-25 Tel 0467-45-0101 FAX 0467-43-1680(代)
 営業所：東京 03(3455)0745 西日本 0820(23)0666 松山 0899(72)4860
 営業所：多摩 0423(75)7947 名古屋 052(75)1762
 工場：広見工場 0895(46)0250 野村工場 0894(72)3625

在校生の声

卒業すること

(動力機械工学科四年)

曾我 隆之



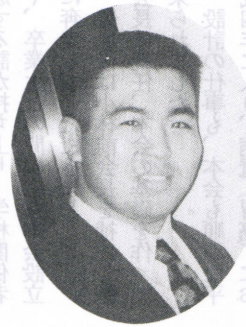
私は百年は生きていないだろうが、人生の中で四年間はとても楽しい時だった。

もともと私は、工学的なものよりも興味を持っていた。だから大学を受ける時にも、もし、大学に入ってから、工学よりも文学を勉強したくなったら、転学部でも再入学でもしようと考えていた。そんな私が、なぜ四年間も、動力機械工学科にいたかといえば、きつと、先生方や、先輩、それに友人達のおかげだったと思う。それは、もちろん学問的な興味や研究に対する好奇心が、先生方の授業等によって満たされたためなのだけれども、それとともに、友人達との共同生活によって成り立っていた、私の日常がとても心地良かったためだと思う。そうして私は今年、卒業する。居心地が良かった生活とも卒業しなければならぬ。そうすることが、私とともにすすんでくれた人々に対する、私への返すものつりだからだ。卒業することはつまりそつじうことだと思つ

二工の学生として

(第二工部機械工学科四年)

細井 正昭



東海大学二部の学生として過ごして来た四年間がもうすぐ終わりを迎えます。二部学生には多くのハンデキャップがあり、そして、メリットも有りましたが、それらを最大限に生かし四年間で多くを学ぶ事が出来ました。

私は入学時から、昼間はバイト、夜は大学そして自宅に帰るといふ生活が始まりました。クラスの人と話すようになり、一人暮らしでがんばっている話を耳にして自分自身に凄く刺激になりました。そこで、空いている時間を利用して、大学のクラブ連合会の少林寺拳法部に入部し部活を通して建学祭や各イベントに積極的に参加しました。この事で多くの先輩後輩が出来、その他にも学務課等の大学職員の方にも名前を覚えて頂きました。四年生になり幸尾・奥川研究室に入り、一年間、軽量滑空機の研究試作を行い総括として10人のメンバーをまとめました(つもり)。私は四年間を通して本当に多くの人と出会った事で上下関係・信用・信頼・礼儀・物事の順序等を学びました。これから社会に出て、二部学生は素晴らしいと言われるようにがんばっていきます。

平成六年度十年会費納入者

- 井原聖一、植木徹、大浦勝也、大高誠、小菅一弘、斎藤田克、霜島勝、竹川真司、田中基嗣、千葉光胤、富田浩之、長島渉、藤井哲志、松本博之、森智幸、山口武志、山根冬彦、渡邊忠輝、安部義弘、石井眞、小川浩義、高橋正樹、石川伸一、関間信雄、大谷和顕、河瀬聡明、木下浩司、畔柳直周、米谷聡、坂倉進雄、柴田勉、田中隆、富永勇、新妻朋之、萩原寛、平野芳之、藤澤良則、前田直人、松本道靖、三好薫、森津昌嗣、山口剛、渡会毅、武田光司、池田大吾、石川泰之、伊藤晴康、上本貴光、大澤厚裕、角田博和、金田健彦、川西秀明、木村冠太、近藤博一、坂巻誠、多鹿克巳、角井貞友、豊田旬、中野博康、橋本仁、原田秀一、廣瀬聡、藤田千城、八木勉、山田顕寛、横田晃一、和田寛明、南里斉穂、穴井義則、池田豊、伊藤裕之、牛居耐誠、大澤弘一、大庭昭浩、神谷満好、金原直司、小暮寛之、小林宏治、西家克典、寒河江太郎、佐藤豊、島田則近、杉本正則、関水義孝、田々井悟、田村豊、豊田秀孝、中村勝彦、西田竜夫、橋本康広、藤平洋、正藤一城、間野恭一、矢口賢、横塚良紀、下曾山晃久、板垣隆俊、阿部徹、今水圭一、内沢浩、上山真史、榎田成基、小林敬典、三瓶宏、西山雄詞、藤本伸吾、三原弘道、望月俊幸、安江伴博、山田貴史、米山雄介、塚野裕義、阿萬剛、太田和徳、佐藤義高、加藤充、清水幸司、廣原明昭、石井勲、市村和正、岩本裕一、大森実行、片居木将行、香山健一、木田昌宏、尾島順一、佐々木匡、志田澄彦、杉山正則、田口雅章、田中泰明、樋野謙一、百目鬼嘉泰、中村良、長谷川衛、樋口英男、伏見猛、本多郁夫、宮本一磨、牧野真一、嶺隆之、杉岡享、村村亮一、七沢浩史、藤島宏延、相川稔、阿部純、池田博輝、池田正義、稲盛博、井上貴夫、遠藤全紀、大面英白、神長寛、糸川嘉弘、黒田洋、小森拓也、斎田尚彦、齋藤忠秀、坂口昂之、坂本敦、佐久馬健一、佐藤垂希子、佐藤一之、篠原正樹、島倉雄介、島田直明、清水雅俊、下村将、田悦三、鈴木聡、高井健一、高崎良博、高旗博文、高山真一、竹田康二、立花浩一、田中勝芳、中誠、中木剛、中田徹、中村淳、広瀬友之、藤野利之、古郡岳、細田健、堀裕行、増田尚之、松田孝彦、荻野勲、市原周弥、西尾真一、茅野晴勇、茨城幸一、田中武、古田雄司、庄子博之、島津頼正、古林正明、三上日出実、新名博、齋木亨、河野通広、岩田稔真、羽田剛、本岡晃彦、小川均、橋本純一、田中馨人、奥野博史、広瀬友之、藤野利之、古郡岳、細田健、堀裕行、増田尚之、松田孝彦、山下慶兼、渡辺保、和田正彦、間野直哉、両角賢一郎、林亮、早川旭、板敷博、菅合健、磯野雅一、直原由郎、高橋紘、遠藤国正、岸義明、大澤樹生、福村武夫、味戸厚一、藤田真、田中泰明、上村博人、安藤幹浩、福田秀和、茂木弘志、児玉哲史、竹本知博、細井清忠、村野泰則、中里孝三、荻野勲、市原周弥、西尾真一、茅野晴勇、茨城幸一、田中武、古田雄司、庄子博之、島津頼正、古林正明、三上日出実、新名博、齋木亨、河野通広、岩田稔真、羽田剛、本岡晃彦、小川均、橋本純一、田中馨人、奥野博史、関根紀朗、羽原誠、北裕吉、光水純一、小暮寛之、山田康二、武重正彦、都郷隆、杉森克彦、篠田明夫、伊藤隆、岩崎克彦、石川大輔、岡本惣介、井上千季、望月厚志、飯島敏雄、鈴木良幸、吉原浩之、島田実、黒沢康彦、小川泰史、安部誠次、佐久間淳、松林孝、山本秀隆、有馬敬彦、坂本正範、高橋一夫、畑野裁彦、宮腰政一、近藤勝昭、丸山精一、工藤謙一、又吉真一、武内一浩、中里公治、伊藤光、大類義行、遠藤謙治、山中水一、内藤高明、浜田淳一、奥野重男、杉本芳、宮本岳史、黒岩進、石塚健司、内田力、平賀真、羽切治、小糸武夫、白畑完一、古泉忠

以上三三〇名

産業用遠心分離機のトップメーカー

巴工業株式会社

TOMOE ENGINEERING CO., LTD.

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-9-2(第二丸善ビル)

TEL. (03) 3721-4055

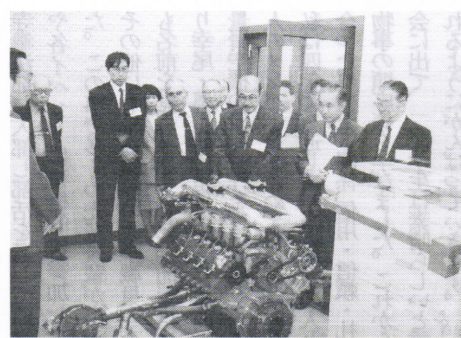
サガミ工場 〒242 神奈川県大和市上草柳193番地

TEL. (0462) 62-0511

学科だより

第一回OB教職員懇談会開催される

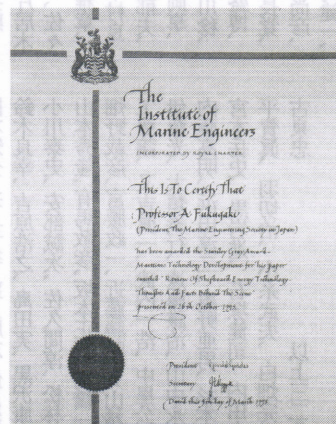
平成六年十一月十九日、発起人である淺沼、金田両先生のご努力により、OB教職員と現教職員の第一回懇談会が、湘南校舎十二号館において開催されました。午前は十二号館地下実験室および三階製図室の見学会が行われ、みなさんとてもお元氣な足取りで各実験室を精力的に回られました。見学会の後には田中工学部長、青木生産機械工学科主任教授も参加されて、昼食をとりながらの懇談会となり、OB教職員の自己紹介および現況報告がありま



実験室の見学風景

した。そのなかで八十を過ぎられた平塚先生から「現在パソコン通信に凝っている」とのお話があり、いささか驚かされました。最後には参加者全員で建学の歌を斉唱し、OB教職員のご健

康と動力機械工学科および第二工学部機械工学科の益々の発展、さらに次回の再会を祈念して万歳三唱で締められました。OB教職員懇談会は学科内でも恒例行事として承認され、今回は十名ものOB教職員が参集されました。次回にもさらに多くの方々に参加されることを願っております。



最優秀論文賞の賞状

福垣教授英国船用機関学会より論文賞を受賞

動力機械工学科福垣教授は日本船用機関学会会長として英国船用機関学会(IME)で発表された招待講演論文に対し、IMEより船用技術開発

に関する最優秀論文賞を受賞されました。授賞式は三月九日ロンドンで行われ、福垣先生は盛大な祝福のなか賞状および賞金を受けられました。このように大変価値のある受賞を心からお祝いすると共に、福垣先生の東海大学および国内外における益々の活躍を期待致します。

故大島守之前副会長を偲んで



本会の前副会長大島守之君が平成六年十月二十八日午前十時三十分、王子生協病院でご家族・同級生の皆様に見守られながら逝去されました。享年五十二才の若さでした。大島君は昭和四十年機械工学科の第一回目の卒業生として気工社に入

社、昭和四十四年大成エンジニアリングを設立して設計の仕事を始めました。後に、機械系全体の同窓会を結成する話が持ち上り、学校関係者や、卒業生との間に立ち本会設立に奔走していただきました。発足後は小林前会長を補佐し副会長に就任、本会の基礎を作つて来られました。設計の仕事も、本会も順調な平成四年に入り、病魔(胃癌)におそわれ、二度の開腹手術を施されました。一時は回復した様に思われましたが、ついに帰らぬ人となりました。

大島君の本会へ残した足跡は大いなるものがあり、本会を維持・発展させる事が彼への供養となります。会員の皆様と手を携えて輪を広げて行きたいと思えます。最後に大島君の友人として、会員の皆様にお礼申し上げます。本会の会員の方のお骨おりにより、奥様の太田桂子様が豊島区菓鴨の萬盛堂薬局(三九一八一五三三八)に就職出来ました。会員の皆様も東京にいられた折にはぜひお立ち寄りになり、ご声援をお願いいたします。心より哀悼の意を申し上げます。(記副会長 山本 秀隆)

東海大学機友会平成5年度会計報告

平成6年3月31日現在

収入の部 (単位 円)	支出の部 (単位 円)
前年度繰越金 2,876,321	事務諸経費 155,996
平成5年度卒生会費納入金(194名分) 1,940,000	会費発行諸経費 1,832,926
既卒者会費納入金(122名分) 1,132,000	会員名簿発行経費 14,600
懇親会費および御祝儀 180,000	卒業生勧誘事業経費 771,987
会報12号掲載広告料(9社分) 614,600	理事会諸経費 182,596
会報13号掲載広告料(9社分) 728,158	懇親会諸経費 336,614
預金利息(横浜銀行分) 2,727	雑費 209,641
	小計 3,504,360
	次年度繰越金 3,969,446
合計 7,473,806	合計 7,473,806

平成7年2月26日

上記監査の結果、相違の無いことを認める。

監査 佐々木 彰
伊藤 昌夫



荏原サービスは、ポンプ業界最大手の荏原製作所グループの一員として「水と空気と環境」をテーマに「世界の人々の豊かな将来のために最上の技術とサービスで広く社会に貢献する」ことを企業理念としている会社です。

お客様に感動を与えるテクニカルサービスを開発しています。

荏原サービス株式会社

それは、

本社：東京都大田区羽田
資本金：4億5千万円
従業員：910名
年商：247億円
(平成4年度実績)

〒144 東京都大田区羽田旭町13-3 ☎03-3743-7311(代) 卒業生 柳川雅春(S45) 小野寺道(S45) 小杉伸一(S51) 柴田 慎(S51) 田中睦子(S53) 鈴木浩司(S59) 中村勝彦(S62) 永田 剛(H5) 平野俊次(H5) 畦地一彦(H5) 菊川 直(H5)